

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		にじいろクラブきしゃポッポ				公表日	2026年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	・曜日によって人数が多かったり、分ける必要に応じて1階、2階を使い分けしている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	5	・職員で声をかけ合い工夫している	・曜日、子どもの利用状況によっては職員不足を感じる	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	・車椅子に対してのスロープを設置してバリアフリー化は進んだ	・まだ完全ではないのでできるだけ早く整える（2階には車椅子利用できず、おんぶなどで移動している）	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・空気清浄機の設置をして感染症対策	・遊ぶ空間にはもう少し整理が必要	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・クールダウンの時間や個別に時間が取れるような場所をその都度確保している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	・ミーティングで積極的に参画している	・振り返りの時間を確保することが必要	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7		・第三者による外部評価は行っていない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	・ミーティング内で研修を組み込んでいる ・可能な研修には参加するように前向きに検討する		
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・個々の利用者さんに合わせたツールをミーティングで話し合い、作成している	・効果、行動観察の結果などを定期的に振り返り、改善することを継続する	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	・本人支援が中心で、必要があれば他の支援も設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0			

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0	・活動時に不明な点は確認し、子ども達が困らないように気を付けている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	2	・出勤時間が異なる為、一斉の打ち合わせはできないが、必要なことは事前に打ち合わせしている ・その都度LINEで共有、連携している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・1日の送り終了後に、職員間でその日気になった事を共有し、必要であればLINEや後日のミーティングで共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	2	・日誌に記録している ・連絡ノートも活用している ・その日にできないことも後日改善するようにしている	・徹底できるようにしていきたい
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	・おやつを食べるかの可否と何をチョイスするかを確認している ・その日の予定を立てる時に、自由活動でやりたいことを子どもに確認している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	・本能的には保護者から計画などを情報共有しているが、学校によっては情報共有はただける ・送迎時間に遅れる時は必ず連絡している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	5	・必要であれば共有している ・必要であれば情報提供していただいている ・相談支援員から丁寧に情報共有していただいている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	6		・今後移動する利用者があるので実施していく
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	8	・公園で地域の子どものとの交流の機会はある	・積極的に交流していない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・連絡ノートやメールを活用している ・送迎時に事業所での予定を直接伝えたり、家での様子を確認している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・保護者会を実施 ・美術展開催の際に保護者にボランティアを依頼し交流の機会を兼ねている	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	・苦情があれば対応する ・苦情になる前に保護者と連絡を取り合っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	・定期的にししゃボツボ通信を発行 ・面談に合わせて、日常の様子の写真を室内に展示している ・作成などには関わっていないが、どのような物を作成しているかなどは確認している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・日々確認などをそて気をつけている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・分かりやすい言葉、動作で行う伝え方が分からない子には確認する ・手話、ジェスチャー、絵カードなども使用している	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	・美術展開催時に、町内会掲示板や公民館などでチラシを展示したり配布して観覧を呼びかけている		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	・定期的に訓練を実施している（火災、地震、不審者、浸水など） ・訓練前に動作確認をしている ・ヒヤリハットを通してマニュアルを見直している	・マニュアルの定期的な見直しが必要 ・周知しているがもっと見やすく1冊にまとめる
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		・BCPの策定の徹底と共有
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		・現在利用者で食物アレルギーの子はいないが、必要な時には対応していく
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・ミーティングで共有し、再発防止について話し合っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・どんなことが虐待と考えられるかなどを研修の機会を設け話し合っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2		・身体拘束を行なう利用者はいないが、必要になれば慎重におこなう	